

⑦ 持続可能な農業

プロジェクト

環境負荷低減による持続可能な農業の実践拡大

目標

- ・環境にやさしい農業の取組面積 <特別栽培>R3 : 499ha → R8 : 700ha
 <有機農業>R3 : 538ha → R8 : 900ha

挑戦する内容

- ・土壤診断のデジタル化等による分かりやすい土づくり指導
- ・堆肥等地域資源の活用促進
- ・環境にやさしい農業の拡大に向けた支援
- ・Webを活用した情報発信力の強化

関係者の声 =対話

- ・土壤診断は農協を通して行っているが、各地区に特徴などがあれば知りたい。「施肥なび」を果樹でも使用できるようにしてほしい(生産者)
- ・堆肥や稻わらを手に入れられるよう、マッチング等もしてほしい(生産者)
- ・将来は環境にやさしい農業が主流になると思うので、今から準備が必要(生産者)
- ・環境にやさしい農業に対する消費者の理解が進んでいない。価格に結び付くよう消費者へのPRを強化してほしい(生産者)
- ・有機農業は近隣生産者とトラブルになることがある(農協)

役割分担

- ・生産者：実践展示ほ等の管理
- ・農協：土壤診断データの提供、研修会の開催等
- ・市町村：研修会等への参加、生産者への情報提供等
- ・県：実践展示ほ等の設置、研修会の開催等

変革後の姿

- ・有効なデータの活用により効果的な生産性向上が実現
- ・消費需要に応えられる安全・安心で良質な農産物の安定供給

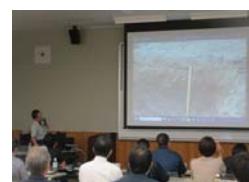
令和6年度計画

挑戦する内容

- 1 土壤診断のデジタル化等による分かりやすい土づくり指導
 - ・蓄積された土壤診断データのオープンデータ化
 - ・総合診断実践展示ほの設置と現地検討会の開催
- 2 堆肥等地域資源の活用促進
 - ・堆肥等有効性の実証・展示ほの設置
 - ・堆肥・稻わら等の活用・定着を促す耕種農家と畜産農家の交流会及び勉強会を開催
- 3 環境にやさしい農業の拡大に向けた支援
 - ・有機農業指導員養成研修等の開催
 - ・水稻有機農業の取組拡大に向けたモデル展示ほの設置、研修会の開催
 - ・エコ農業技術の普及、GAPの取組拡大に向けた研修会の開催
- 4 Webを活用した情報発信力の強化
 - ・有機農産物等の情報共有とマッチングの場となるプラットフォームの構築
 - ・土壤診断や堆肥の活用、環境にやさしい農業に関する動画配信



稻わらロール



土づくり指導力向上研修会

対話

- ・部会を開催し、事業の進捗状況を把握とともに、意見を参考に事業構築(8月、1月)
- ・各種研修会等を開催する際に関係者や生産者と意見交換し、ニーズを把握するとともに、関係機関の意見を参考に事業構築(6~8月)

